

竹川病院

畑中 葉月検査技師

功 績 新型コロナウイルス陽性者発生時に検査技師として院内外のPCR検査を一手に引き受け対応した功績

推 薦 理 由 新型コロナウイルスの職員陽性者の発生に伴い、遅滞なく検査を行ったこと。

内 容

畑中検査技師は今年の5月に当院に入職しました。当院には院内に一名しか検査技師がいない状態であり、サポート要因は募集していますがなかなか集まらない状況です。当院において検査技師の行う業務としては検体検査業務・健診業務・外注検査の対応、生理検査（心電図・エコー検査）など多岐に渡る業務を一人で行っていただいています。

そんななか、入職後間もないにもかかわらず、前任者の引き継ぎを受け、日常業務も忙しいなか、マニュアルを更新し、自身の不在時に備え最低限の事務職員による穴埋めのためのマニュアルも作成され、職務に対する責任感については頭が下がります。

従前より新型コロナウイルス対応についても院内NEAR法による検査を入院患者さん・付き添いのご家族・発熱時の職員対応と毎日のように実施し、新型コロナウイルスの院内感染防止の一翼を担っていただいています。

今回、理事長賞に推薦することとなった経緯としてですが、新型コロナウイルスが猛威をふるう中、昨年より当院スタッフの中でも新型コロナウイルス陽性者が散見されています。幸いにも各自の行動、その後の当院内の感染対策からクラスターに至る程のことはありません。

2021年8月ですが、相次いで異なる二つの病棟で新型コロナウイルス陽性者が発生いたしました。今回も幸いなことにクラスターは発生していません。梶田副院長陣頭指揮による院内の感染管理、本部の指導も伴いゾーニング対応も適切に行いました。

この際に院内の拡散増幅法による検査と保健所の指示による院外PCR検査のとりまとめと対応を入職して半年も立たない中、通常業務に並行し一人で行ったことは賞賛に値します。この間の検査件数は新型コロナウイルス関連だけで250件におよび、結果はすべて陰性となりましたが、畑中検査技師の労力は相当の物だったと思います。以上の功績により理事長賞に推薦いたします。